第 4 講 【系統地理編】日本の自然環境と災害

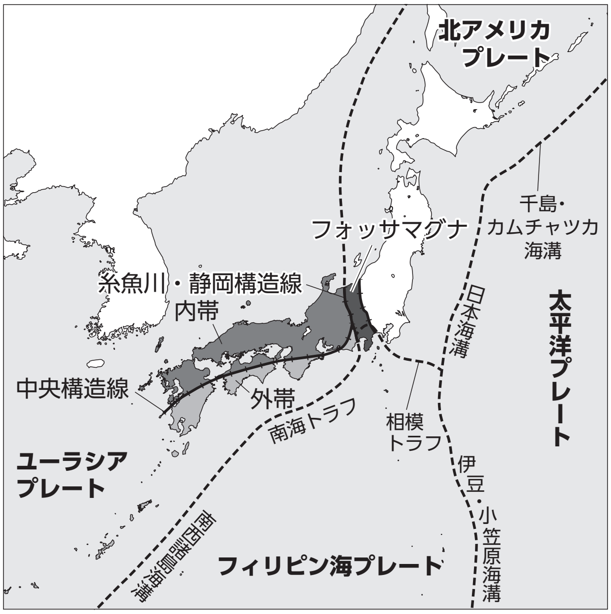
PART 1 日本の地形

Chapter 1　日本の地形

目標
日本列島の地形的な特徴を理解しよう。
日本列島は，フォッサマグナと中央構造線によってどう分けられるだろう。

1　日本列島とプレートテクトニクス

・日本列島は**ユーラシア大陸**と**太平洋**に挟まれた**弧状列島**。
・４枚のプレートの境界に位置する。
　→海洋プレート：**太平洋プレート**・〔　　　　　　　　　　　〕**プレート**。
　→大陸プレート：〔　　　　　　　　　　〕**プレート**・**ユーラシアプレート**。
　→プレートの移動により，５つの島弧が形成された。
・大陸プレートに海洋プレートが沈み込む地帯では，**海溝**や**トラフ**を形成。
　→〔　　　　〕海溝や，〔　　　　〕トラフなど。地震の震源ともなる。
・プレートが沈み込む際に地下で**マグマ**が発生すると，**火山**が形成される。
　→海溝やトラフと並列して火山帯が形成される。



日本周辺の地形

<5 つの島弧とプレートの関係 >

地形	成因
千島弧 東北日本弧	太平洋プレートが，北アメリカプレートに沈み込むことで形成された。
伊豆・小笠原弧	太平洋プレートが，フィリピン海プレートに沈み込むことで形成された。
西南日本弧 琉球弧	フィリピン海プレートが，ユーラシアプレートに沈み込むことで形成された。

2 日本列島を走る構造線

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕：本州中央を縦断している**構造線**。

→**ユーラシアプレート**と**北アメリカプレート**の境界と考えられている。

→糸魚川・静岡構造線を西縁とする大陥没帯が〔　　　　　　　　　　　　　　〕であり，**東北日本**と**西南日本**を分けている。東縁は不明瞭である。

・〔　　　　　　　　　　〕：西南日本を横断する断層。

→中央構造線を境に，大陸側の**内帯**と太平洋側の**外帯**に分けられる。

→内帯はなだらかな地形で平野が多く，外帯は山脈の多い険しい地形。

フォッサマグナ

愛媛県・石鎚山

まとめ

４枚のプレートの境界に位置する弧状列島。

フォッサマグナによって東北日本・西南日本に区分され，西南日本は中央構造線によって外帯と内帯に区分される。

Chapter 2　日本の山地・平野

目標
日本列島における火山の分布について理解しよう。
日本の河川の特徴について理解しよう。

1　日本列島の山脈と火山（活火山）分布

1. 日本列島の山脈

・東北地方：脊梁山脈の〔　　　　〕山脈。「**東北の背骨**」。
　→〔　　　　　〕が奥羽山脈にぶつかることで，太平洋側と日本海側で気候が異なる。
・中部地方：3,000m 級の急峻な「**日本アルプス**」。**飛驒山脈**，**木曽山脈**，**赤石山脈**。
・西日本：緩やかな**中国山地**と，急峻な**四国山地**。
　→2つの山地に挟まれた〔　　　　　〕地方は降水量が少ない。

2. 日本列島の火山

・北海道や東日本：海溝に並行して〔　　　　　〕が形成される。
・西日本：火山のない地域が多いが，九州は**雲仙岳**，**桜島**などが分布し**火山帯**を形成。

日本の主な山脈・火山

2　日本列島の平野

1. 沖積平野

・日本列島では狭い土地に急峻な山地が多く，河川が〔　　　　　〕，流れが**急**である。

→侵食・運搬・堆積作用が大きく働き，**沖積平野**の発達が見られる。

→氾濫原・扇状地・三角州などを形成。

日本の主な河川・平野

氾濫原

2. 海岸平野と台地

・**海岸平野**：かつての浅海底が〔　　　　　〕して生まれた平野。十勝平野（北海道）や**九十九里平野**（千葉県）など。

・**台地**：かつて低地だった所が隆起して生まれた平野。関東平野など。

九十九里平野

関東平野

まとめ　北海道や東北，九州では，海溝やトラフに並行し火山帯が見られる。
河川が短く流れが急であるため，侵食・運搬・堆積作用が大きく働き，沖積平野が発達する。

第 4 講　PART 1　確認問題

1　日本列島の地形の特徴として，**正しくないもの**はどれか。

①　ユーラシア大陸と太平洋に挟まれた弧状列島である。
②　プレート中央部に位置する。
③　地震・火山活動が活発である。
④　付近には，海溝やトラフなどの地形が分布する。

2　西南日本弧の成因に関わる海洋プレートはどれか。

①　太平洋プレート　　②　フィリピン海プレート
③　北アメリカプレート　　④　ユーラシアプレート

3　日本を東北日本と西南日本に分ける大陥没帯はどれか。

①　フォッサマグナ　　②　日本海溝
③　中央構造線　　④　南海トラフ

4　西南日本を内帯と外帯に分ける断層はどれか。

①　フォッサマグナ　　②　日本海溝
③　中央構造線　　④　南海トラフ

5 日本の各地域と山脈・山地の特徴として，**正しくないもの**はどれか。

① 東北地方：奥羽山脈を境に，太平洋側と日本海側で気候が異なる。
② 中部地方：「日本アルプス」を有し，なだらかな山脈が広がる。
③ 西日本：中央構造線を境に，中国山地と四国山地が分布する。
④ 瀬戸内地方：山地に挟まれた地域であり，降水量が少ない。

6 火山の比較的少ない地域はどれか。

① 北海道　② 東北
③ 九州　④ 近畿

7 日本の河川と沖積平野について述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 日本の河川は，長く穏やかである。
② 日本の河川は侵食・運搬・堆積作用が強く働く。
③ 沖積平野には，氾濫原・扇状地・台地などがあてはまる。
④ 日本には，沖積平野があまり存在しない。

8 海岸平野・台地の主な成因として正しいものはどれか。

① 土地の隆起作用
② 土地の沈降作用
③ 河川による運搬・堆積作用
④ 河川による侵食作用

第 4 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②

日本列島は，太平洋プレート・フィリピン海プレート・北アメリカプレート・ユーラシアプレートという 4 枚の**プレートの境界**に位置する。

2 解答：②

西南日本弧は，**フィリピン海プレート**が，**ユーラシアプレート**に沈み込むことで形成された。

3 解答：①

フォッサマグナは，日本を東北日本と西南日本に分ける大陥没帯であり，その西縁が**糸魚川・静岡構造線**である。

4 解答：③

中央構造線は，西南日本を横断する断層であり，これによって西南日本は内帯と外帯に分けられている。

5 解答：②

飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈からなる「日本アルプス」は，中部地方にある険しい山脈であり，3,000m 級の**急峻な高峰**が連なっている。

6 解答：④

火山帯に沿って数多くの火山が分布する北海道や東北，九州と比較して，**近畿地方**は火山が少ない地域となっている。

7 解答：②

狭い土地に急峻な山地が多い日本列島では，河川の侵食・運搬・堆積作用が大きく働くため，**沖積平野**が発達している。

8 解答：①

海岸平野はかつての浅海底が**隆起**，台地はかつて低地だった所が**隆起**することで形成された地形である。